

令和4年度 第3回 気田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月17日（月） 15時15分から16時20分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 山崎 陽康、井口 哲秀、栗島 栄市、森下 薫、山下 太一郎、福島 亜弥、清水 恭子、岩本 祐美子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 米倉 理恵（気田幼稚園長）、佐々木 徹（春野協働センター）
- 6 学 校 堀部 憲一（校長）、小澤 真喜子（教頭）、森下 裕子（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし

9 協議事項

(1) 学校運営に対する感想や意見等について

・学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて・

(2) ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めること

(3) 子供が地域へ元気を届けるためにできること

10 会議録作成者 森下 裕子（CS ディレクター）

11 会議記録

司会の 小澤 真喜子 から、委員総数8人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、森下委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校運営に対する感想や意見等について

委員より以下の発言があった

- ・概ね順調にいらっている（森下委員）
- ・ウォークラリーで田河内小学校に来てくれて子供達に昔のものに興味を持ってもらえた（栗島委員）
- ・自分たちで作った焼き芋を食べたり先生にプレゼントしたり素敵なことをしている（福島委員）
- ・家では手伝わないが、学校での体験活動（田植え等）は喜んで取り組んでいる（清水委員）
- ・家庭科ミシンでボランティアさんのおかげで自信がついて家庭でもミシンを使っている（岩本委員）
- ・農業や林業の体験は今まで通り行っているが、ズームを使ったことをコミスクで体験としてやったらどうか（佐々木）

- ・子供達が元気に挨拶してくれて嬉しい。ここで沢山の体験ができていて良いと思う。小学校と同じく幼稚園でも様々な体験を地域でさせていただいている（米倉）
- ・春野の豊かな自然とは何か。掘り下げて考えるといい。国蝶はエノキの葉しか食べない。学校の近くに榎の木があるので、近くにいるかもしれない。そのような他で体験できない魅力は春野にはあるのでそういうことを教えていくといいと思う（山下委員）
- ・挨拶が元気にできる。地域の子供が学校生活の話をしてくれるのを聞いて学校生活が充実していると感じる（井口委員）
- ・山の子は木を知らない。鳥の種類を知らない。調べて掘り下げるといい。町外から来てくれた人は春野に対する視点が違うと思うので、なぜ移住したか等聞くといい。移住者には地元の人へ春野の良さを教えてもらいたい（山崎委員）

（２）ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めること

- ・アサギマダラはフジバカマの蜜を吸いに必ず来る。花壇に植えると子供達が観察できると思う。南へ南へと海を渡る蝶であるが、10月頃にこの地域を通過するので観察できる環境を整えるのはどうか（山下委員）
 - 花壇は植えるものが決まっているので、花壇以外のところへ植えるように早速検討したい。フジバカマを植えてあるお宅に聞いてみようと思う（森下委員）
 - 蝶の写真を貼り出すと子供達が見つけると教えてくれるかも（山崎委員）

今後の活動のヒントになった。今後子供たちにどうアプローチするか考えていくこととする

（３）子供が地域へ元気を届けるためにできること

校長より前回の協議会で弁当配達の話があり、社協さんに問い合わせをした。配達の日曜なので学校が配布のお手伝いをするのは難しい。社共さんから、お弁当のパッケージを春野校舎のボランティアさんが作っているが、お弁当にメッセージカードがつくことでお年寄りがすごく喜んでくれるので、折り鶴やメッセージカードをつけるのはどうかとアイデアをいただいた。早速高学年で試みようと思う。

また、近所の人から、3年間お祭りがなく子供たちにお囃子を知らない子がいるので今度お祭りが再開した時に太鼓をたたけないのではないかと心配がある。由緒正しい祭りであるので伝統を絶やしたくないため学校で対応できないかと相談があった。これについても検討していきたいという発言があった。

委員より以下の発言があった。

- ・お弁当メッセージについては犬居小学校の子供達にも声をかけて一緒にできたらと思う（山崎委員）

教頭より、来年の杉地区のウォークラリーについてアイデアをという発言があった

- ・高杉体験という活動は人気がある。民家へお邪魔し、話を聞きながらお昼を食べる。縁側で食べるご飯が喜ばれたり、自分たちには考えたことのないような質問をされたりとお互い楽しい時間を過ごせる子供たちは広い広間が珍しく、はしゃいでいた
(山下委員)

その他連絡事項等

司会から、来年度の会議の日程について報告があった。

第4回 令和5年 2月24日(金) 14時30分～

第4回には自己評価をお願いする旨の説明があった

教育総務課より

常に学校基本方針を振り返りながら行っているのが凄い。学校支援活動が「ふるさとを愛する」ということに繋がっていくか。振り返りながら、進めると良い。

学校教育でICTをどう使っているかということ聞かれることが多いが、運営協議会でICTの使い方をやってみるということも良い。

今後子供たちが学ぶしかけをどう作るか。移住した人に話を聞いたりすることも良い。大河ドラマがあるので他県から人が来ると思うので子供達が地元のガイドができるように学習を進めるということも良い。それにあたって、つまずいたときに地域のこんな人に話を聞くといいよという人材を集めておく。